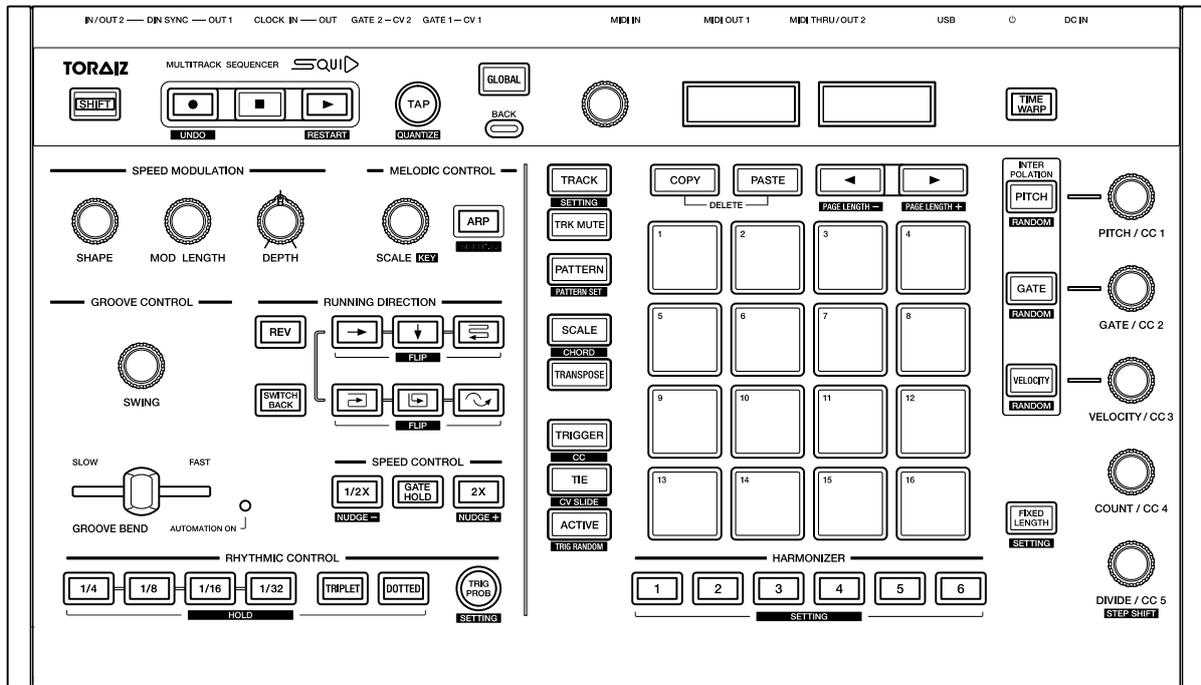


取扱説明書 Version.1.10 追補



マルチトラック・シーケンサー

SQUI ▶

pionerdj.com/support/

上記のサイトで、本製品の FAQ などのサポート情報をご覧ください。

TORAIZ

もくじ

1. はじめに	4
2. ファームウェアバージョンの確認方法	5
3. SQUID Manager 連携機能.....	6
プロジェクト管理機能	6
パターン転送機能.....	6
4. プログラム・チェンジとバンク・セレクトの送信機能.....	7
トラック設定の操作方法.....	7
トラック設定項目.....	7
5. トラック・ディレイ設定.....	8
トラック設定の操作方法.....	8
トラック設定項目.....	8
6. パターンの再生速度設定.....	9
パターンの再生速度を設定する.....	9
7. 外部 MIDI 機器を使用したステップ・レコーディング機能.....	10
外部 MIDI 機器を使用してステップ・レコーディングする.....	10
8. パターン・セットの編集機能.....	11
パターンを設定する	11
ミュートのオン/オフを設定する.....	11
パターン・セットをコピー/ペーストする	12
9. [MIDI IN]端子から[USB]端子への MIDI メッセージ送信機能.....	13
グローバルメニューの操作方法.....	13
[MIDI OUT]設定項目.....	13
10. 音楽的な RANDOMIZER (ランダムマイザー) 機能.....	14
グローバルメニューの操作方法.....	14
[Randomizer]設定項目.....	14
11. TIME WARP (タイムワープ) の動作改善	15
タイム・ワープ・モード切り替え時の動作.....	15
[PATTERN]ボタンの点灯状態.....	15
12. CHORD (コード) モードの表示および操作方法の改善	16
コードセットを設定する.....	16
トランスポーズを設定する	16
13. ナッジの動作改善.....	17
スレーブ動作時の NUDGE (ナッジ) 操作.....	17

14. その他.....	18
グローバルメニューの設定値変更	18
USB ハブの使用に関して.....	19

1. はじめに

このドキュメントは TORAIZ SQUID ファームウェア 1.10 で追加された機能について記載しています。

TORAIZ SQUID ファームウェア 1.10 で追加された機能は以下の通りです。

- SQUID Manager 連携機能
- プログラム・チェンジとバンク・セレクトの送信機能
- トラック・ディレイ設定
- パターンの再生速度設定
- 外部 MIDI 機器を使用したステップ・レコーディング機能
- パターン・セットの編集機能
- [MIDI IN]端子から[USB]端子への MIDI メッセージ送信機能
- 音楽的な RANDOMIZER (ランダムマイザー) 機能
- TIME WARP (タイムワープ) の動作改善
- CHORD (コード) モードの表示および操作方法の改善
- ナッジの動作改善

2. ファームウェアバージョンの確認方法

1 本体背面部にある電源ボタンを押して、電源をオンにする

各種ボタンや 16 パッドが点灯し、本体表示部にメイン画面が表示されます。

2 [GLOBAL]ボタンを押す

本体表示部にグローバルメニューが表示されます。

3 ロータリーセレクターを回して[System Info]を選択する

本機のファームウェアバージョンが表示されます。

4 [BACK]ボタンを押す、または[GLOBAL]ボタンを押す

グローバルメニューが終了し、本体表示部が元の画面に戻ります。

3. SQUID Manager 連携機能

SQUID 専用アプリケーション「SQUID Manager」と連携することで、コンピューターと SQUID の間でプロジェクトやパターンの転送を行えます。「SQUID Manager」には以下の機能があります。

プロジェクト管理機能

SQUID で作成したプロジェクトをコンピューターに保存できます。また、コンピューターに保存したプロジェクトを SQUID にロードできます。主に SQUID のプロジェクトのバックアップに使用します。

パターン転送機能

SQUID で作成したパターンをスタンダード MIDI ファイル（以下、MIDI ファイル）に変換してコンピューターに転送できます。また、コンピューターに保存してある MIDI ファイルを SQUID のパターンに変換して SQUID に転送できます。SQUID で作成したパターンを DAW ソフトウェアにロードしてさらに細かく作り込んだり、DAW ソフトで作成したフレーズを SQUID にロードしハードウェアならではの直感的なアレンジを加えたり、ハードウェアとソフトウェアそれぞれの特徴を生かした音楽制作のワークフローを実現します。

詳しくは「SQUID Manager User's Manual」をご覧ください。

4. プログラム・チェンジとバンク・セレクトの送信機能

MIDI メッセージのプログラム・チェンジとバンク・セレクトを送信できます。プログラム・チェンジとバンク・セレクトの設定はトラック設定で行います。

- プログラム・チェンジとバンク・セレクト設定時に、それぞれの MIDI メッセージを送信します。
- プロジェクトを読み込んだ時に設定されているプログラム・チェンジとバンク・セレクトを送信します。

トラック設定の操作方法

トラック設定の操作方法については、取扱説明書の「TRACK (トラック) 設定」-「トラック設定の操作方法」をご覧ください。

トラック設定項目

設定値のうち、初期値は*で示されています。

❖ Bank Select MSB

設定値：None*、000 ～ 127

バンク・セレクトの MSB を設定します。

❖ Bank Select LSB

設定値：None*、000 ～ 127

バンク・セレクトの LSB を設定します。

❖ Program Change

設定値：None*、000 ～ 127

プログラム・チェンジ番号を設定します。

その他のトラック設定項目については、取扱説明書の「TRACK (トラック) 設定」-「トラック設定項目」をご覧ください。

5. トラック・ディレイ設定

トラック毎のディレイ設定により、本機に接続されている機器間の演奏タイミングを調整できます。トラック・ディレイの設定はトラック設定で行います。

トラック設定の操作方法

トラック設定の操作方法については、取扱説明書の「TRACK（トラック）設定」-「トラック設定の操作方法」をご覧ください。

トラック設定項目

設定値のうち、初期値は*で示されています。

❖ Track Delay

設定値：0 msec* ～ 63 msec

トラックの演奏情報出力の遅延量を設定します。設定値の遅延量で演奏情報を出力します。

その他のトラック設定項目については、取扱説明書の「TRACK（トラック）設定」-「トラック設定項目」をご覧ください。

6. パターンの再生速度設定

シーケンスの再生速度をパターン単位で設定できます。

- パターン再生速度設定の追加に伴い、トラック設定項目の Track Speed は削除されました。

パターンの再生速度を設定する

1 [PATTERN]ボタンを押す

ボタンが緑で点灯し、16パッドがパターンモードに切り替わります。

2 ロータリーセレクターを回してパターンの再生速度を選ぶ

設定された BPM による再生速度に対して、カレントパターンが設定値の倍率で再生されます。設定されるパターンの再生速度は本体表示部の[Speed]で確認できます。

- 設定値は x0.25、x0.5、x1.0、x1.5、x2.0 から選択できます。

(1) パターンの再生速度



7. 外部 MIDI 機器を使用したステップ・レコーディング機能

外部 MIDI 機器（MIDI キーボード等）からノート情報を入力してステップ・レコーディングを行えます。

外部 MIDI 機器を使用してステップ・レコーディングする

1 [Rec Channel]を設定する

操作する外部 MIDI 機器に合わせて、グローバルメニューの[Rec Channel]設定項目の設定値を適切に設定してください。

[Rec Channel]の設定方法については、取扱説明書の「GLOBAL（グローバル）設定」 - 「[MIDI IN]設定項目」をご覧ください。

2 [TRIGGER]ボタンを押す

ボタンが橙で点灯し、16 パッドがトリガーモードに切り替わります。

3 ノート情報を設定するパッドを押しながら、外部 MIDI 機器を操作する

外部 MIDI 機器から送信されたノート情報がパッド（ステップ）に記録されます。外部 MIDI 機器を操作して記録されるノート情報はピッチ値、ゲート値とベロシティ値です。各パッド（ステップ）に1～8までの複数のノート情報を記録できます。

- ゲート値は 1.000step の固定値で記録されます。
- オフセット値は 0 の固定値で記録されます。
- パッドを押しながら外部 MIDI 機器を操作するたびにノート情報が上書きで記録されます。
- 複数のパッドを押しながら上記操作を行うことで、押しているすべてのパッドにノート情報を記録できます。

4 パッドを離す

ノート情報が確定します。

8. パターン・セットの編集機能

パターン・セットモードで、各トラックのパターンやミュートのオン/オフの設定ができます。

パターンを設定する

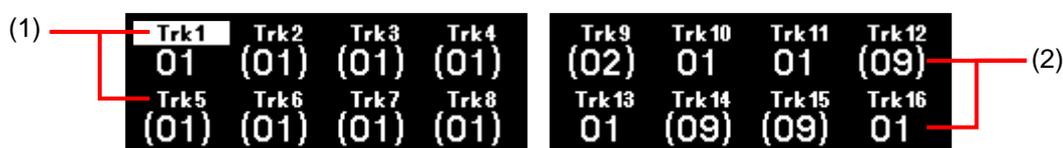
1 [SHIFT]ボタンを押しながら、[PATTERN]ボタンを押す

[PATTERN]ボタンが緑で点滅し、16パッドがパターン・セットモードに切り替わります。

2 編集したいパターン・セットのパッドを押す

パッドを押している間、本体表示部にパターン・セットの状態が表示されます。パターン・セットの状態は各トラックに設定しているパターン番号と各トラックのミュートのオン/オフ状態を表示します。

(1) トラック番号 (2) パターン番号



3 引き続きパッドを押しながら、ロータリーセレクターを回す

反転表示を移動してパターンを設定するトラック番号を選択します。

4 引き続きパッドを押しながら、ロータリーセレクターを押してロータリーセレクターを回す

パターン番号に反転表示が移動してパターン番号が設定されます。

5 パッドを離す

元の画面に戻ります。

ミュートのオン/オフを設定する

1 [SHIFT]ボタンを押しながら、[PATTERN]ボタンを押す

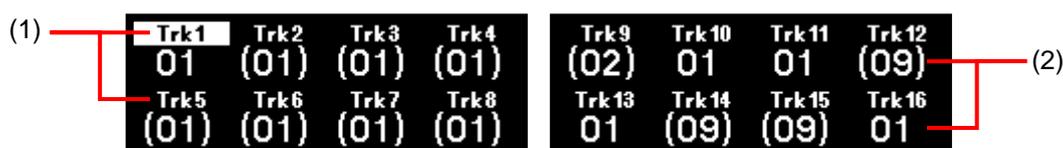
[PATTERN]ボタンが緑で点滅し、16パッドがパターン・セットモードに切り替わります。

2 編集したいパターン・セットのパッドを押す

パッドを押している間、本体表示部にパターン・セットの状態が表示されます。パターン・セットの状態は各トラックに設定しているパターン番号と各トラックのミュートのオン/オフ状態を表示します。

- ミュートがオンのトラックはパターン番号を括弧で囲んで表示します。

(1) トラック番号 (2) パターン番号



3 引き続きパッドを押しながら、ロータリーセレクターを回す

反転表示を移動してミュートのオン/オフを設定するトラック番号を選択します。

4 **[▶]ボタンまたは[◀]ボタンを押してミュートのオン/オフを切り替える**

選択しているトラックのミュートオン/オフが設定されます。[▶]ボタンまたは[◀]ボタンを押すたびに、ミュートのオン/オフが切り替わります。

5 **パッドを離す**

元の画面に戻ります。

パターン・セットをコピー/ペーストする

1 **[SHIFT]ボタンを押しながら、[PATTERN]ボタンを押す**

[PATTERN]ボタンが緑で点滅し、16パッドがパターン・セットモードに切り替わります。

2 **[COPY]ボタンを押しながら、コピーしたいパッドを押す**

コピーしたパッドが青で点灯します。

3 **[PASTE]ボタンを押しながら、ペースト先のパッドを押す**

ペーストしたパッドが青で点灯します。

9. [MIDI IN]端子から[USB]端子への MIDI メッセージ送信機能

[MIDI IN]端子で受信した MIDI メッセージを[USB]端子から出力できます。[USB]端子の出力の設定はグローバルメニューで行います。

グローバルメニューの操作方法

グローバルメニューの操作方法については、取扱説明書の「GLOBAL（グローバル）設定」-「グローバルメニューの操作方法」をご覧ください。

[MIDI OUT]設定項目

設定値のうち、初期値は*で示されています。

❖ USB Mode

設定値：OUT*、OUT+MIDI IN

[USB]端子の使い方を設定します。

- OUT： 本機の MIDI メッセージを出力します。
- OUT+MIDI IN： 本機の MIDI メッセージと[MIDI IN]端子で受信した MIDI メッセージをマージして出力します。

その他の MIDI OUT 設定項目については、取扱説明書の「GLOBAL（グローバル）設定」-「[MIDI OUT]設定項目」をご覧ください。

10. 音楽的な RANDOMIZER (ランダムマイザー) 機能

各ステップの発音/消音設定とピッチ値の2つに適用するランダムマイザーに、完全な無作為ではなく音楽的に動作するランダムマイザーを追加しました。ランダムマイザーの動作方式の設定はグローバルメニューで行います。

グローバルメニューの操作方法

グローバルメニューの操作方法については、取扱説明書の「GLOBAL (グローバル) 設定」-「グローバルメニューの操作方法」をご覧ください。

[Randomizer]設定項目

設定値のうち、初期値は*で示されています。

❖ Trigger Type

設定値 : Euclid Based*、Normal

各ステップの発音/消音をランダムに設定する動作方式を設定します。

- Euclid Based : ユークリッドの互除法を応用してステップの発音/消音、および有効 (アクティブ) /無効 (非アクティブ) をランダムに設定します。
- Normal : 発音/消音設定をランダムに設定します。

❖ Pitch Type

設定値 : Melodic*、Normal

各ステップのピッチ値をランダムに設定する動作方式を設定します。

- Melodic : 一定の音楽的相関が保たれるようにピッチ値をランダムに設定します。
- Normal : ピッチ値をランダムに設定します。

その他の Randomizer 設定項目については、取扱説明書の「GLOBAL (グローバル) 設定」-「[Randomizer] 設定項目」をご覧ください。

11.TIME WARP（タイムワープ）の動作改善

タイム・ワープ・モード切り替え時の動作

タイム・ワープ・モードに切り替えたり、タイム・ワープ・モードから抜けたりするときに、本機の再生を継続します。これにより、本機のシーケンサーによって演奏されるパターンとタイム・ワープ・モードで視聴するパターンが途切れる事無くシームレスに切り替わります。

[PATTERN]ボタンの点灯状態

タイム・ワープ・モード中の[PATTERN]ボタンの表示状態は以下となります。

- パターンの視聴が可能な状態 : 点灯
- パターンの保存が可能な状態 : 点滅

12.CHORD（コード）モードの表示および操作方法の改善

本体表示部に表示されるコードセットは具体的な名称が表示されます。また、コードセットおよびトランスポーズはロータリーセレクターを操作して設定できます。

コードセットを設定する

コードモードには 18 種類のコードセットがあらかじめ用意されています。

1 [SHIFT]ボタンを押しながら、[SCALE]ボタンを押す

ボタンが赤で点滅し、16 パッドがコードモードに切り替わります。

2 ロータリーセレクターを押す

コードセット表示部を反転表示にします。

(1) コードセット表示部



- ロータリーセレクターを押すたびに、コードセットの設定とトランスポーズの設定を切り替えられます。

3 ロータリーセレクターを回してコードセットを選ぶ

設定されるコードセットは本体表示部のコードセット表示部で確認できます。

トランスポーズを設定する

コードセットの和音を移調できます。

1 [SHIFT]ボタンを押しながら、[SCALE]ボタンを押す

ボタンが赤で点滅し、16 パッドがコードモードに切り替わります。

2 ロータリーセレクターを押す

トランスポーズ表示部を反転表示にします。

(1) トランスポーズ表示部



- ロータリーセレクターを押すたびに、コードセットの設定とトランスポーズの設定を切り替えられます。

3 ロータリーセレクターを回して移調量を選ぶ

設定される移調量は本体表示部のトランスポーズ表示部で確認できます。

- 移調量は-12 半音から+12 半音までです。

13. ナッジの動作改善

グローバルメニューの[Sync Source]設定の設定値が[Internal]以外（スレーブ動作時）であってもナッジ操作を行えます。

スレーブ動作時の NUDGE（ナッジ）操作

本機のステップのタイミングを、外部機器から受信した同期信号の1クロック単位でシフトできます。

1 シーケンス再生中に[SHIFT]ボタンを押しながら、[2X]ボタンまたは[1/2X]ボタンを押す

[2X]ボタンを押すとシーケンスが1クロック分進み、[1/2X]ボタンを押すとシーケンスが1クロック分遅れます。

- 1クロックは同期信号の種類、およびそれに関する設定項目の設定値によって決定されます。取扱説明書の「GLOBAL（グローバル）設定」より、「[Sync Common]（Sync 共通）設定項目」、「[DIN SYNC]設定項目」、「[CLOCK]設定項目」をご覧ください。

14. その他

グローバルメニューの設定値変更

グローバルメニューの一部設定項目の設定値が変更されました。取扱説明書の下表当該箇所をご覧ください。

ページ	当該箇所	Ver.1.00	Ver.1.10
125	[MIDI OUT] 設定項目 (145)	<u>MIDI OFF</u> 、 <u>OUT*</u> 、 <u>OUT+MIDI IN</u> 、 <u>OUT+USB IN</u>	<u>OUT*</u> 、 <u>OUT+MIDI IN</u> 、 <u>OUT+USB IN</u>
125	[MIDI OUT] 設定項目 (145)	<u>MIDI OFF</u> 、 <u>OUT</u> 、 <u>OUT+MIDI IN</u> 、 <u>OUT+USB IN</u> 、 <u>THRU (MIDI IN)*</u> 、 <u>THRU (USB IN)</u>	<u>OUT</u> 、 <u>OUT+MIDI IN</u> 、 <u>OUT+USB IN</u> 、 <u>THRU (MIDI IN)*</u> 、 <u>THRU (USB IN)</u>
126	[Randomizer]設定項目 (148)	<ul style="list-style-type: none"> • [Etc]設定の[Middle C]が[C3]のとき：C-2～<u>C3*</u>～G8 • [Etc]設定の[Middle C]が[C4]のとき：C-1～<u>C4*</u>～G9 • [Etc]設定の[Middle C]が[C5]のとき：C0～<u>C5*</u>～G10 	<ul style="list-style-type: none"> • [Etc]設定の[Middle C]が[C3]のとき：C-2～<u>C2*</u>～G8 • [Etc]設定の[Middle C]が[C4]のとき：C-1～<u>C3*</u>～G9 • [Etc]設定の[Middle C]が[C5]のとき：C0～<u>C4*</u>～G10
145	OUT1 Mode	設定値： <u>MIDI OFF</u> 、 <u>OUT*</u> 、 <u>OUT+MIDI IN</u> 、 <u>OUT+USB IN</u>	設定値： <u>OUT*</u> 、 <u>OUT+MIDI IN</u> 、 <u>OUT+USB IN</u>
146	OUT2 Mode	設定値： <u>MIDI OFF</u> 、 <u>OUT</u> 、 <u>OUT+MIDI IN</u> 、 <u>OUT+USB IN</u> 、 <u>THRU (MIDI IN)*</u> 、 <u>THRU (USB IN)</u>	設定値： <u>OUT</u> 、 <u>OUT+MIDI IN</u> 、 <u>OUT+USB IN</u> 、 <u>THRU (MIDI IN)*</u> 、 <u>THRU (USB IN)</u>
148	Pitch Min	設定値： <ul style="list-style-type: none"> • [Etc]設定の[Middle C]が[C3]のとき：C-2～<u>C3*</u>～G8 • [Etc]設定の[Middle C]が[C4]のとき：C-1～<u>C4*</u>～G9 • [Etc]設定の[Middle C]が[C5]のとき：C0 ～<u>C5*</u>～G10 	設定値： <ul style="list-style-type: none"> • [Etc]設定の[Middle C]が[C3]のとき：C-2～<u>C2*</u>～G8 • [Etc]設定の[Middle C]が[C4]のとき：C-1～<u>C3*</u>～G9 • [Etc]設定の[Middle C]が[C5]のとき：C0 ～<u>C4*</u>～G10

USB ハブの使用に関して

お使いになる USB ハブによっては MIDI 通信に遅延が生じるなど、性能の保証ができないために推奨しません。やむを得ず USB ハブ経由で接続する場合は MIDI 通信に問題がないことを確認のうえでお使いください。

© 2019 Pioneer DJ 株式会社

禁無断転載